

この会報は、共同募金の配分を受けて発行されています。



# YOUR

令和7年 一般社団法人 さいたま市手をつなぐ育成会 第97号

## 障害者協議会 バス研修会

### 国立重度知的障害者総合施設

#### 「のぞみの園」

当日は十六名の参加者で小雨の降る中を新都心から出発、途中高崎観音の駐車場近くの大平軒という食堂でけんちん蕎麦をいただき、その後食後の運動を兼ねて高崎観音まで、坂道をみんなで頑張って歩き記念撮影をしてみました。

大きくて中々観音様の全体像が写真に入らないので大変苦労しましたが、それほど観音様が巨大で傍で見ると本当に圧巻でした。

その後、目的地の施設へ向かいましたがあいにくお昼休みで少し待たされました。

高崎市を望む標高二〇〇メートルの丘陵地に東京ドーム五十個分の敷地の中に入所施設やショートステイ、児童発達支援・放デイ・保育所等訪問支援と色々な事業を行っております。

時間の都合上、施設の中を見学することは出来ませんでした。特に強度行動障害の支援者講習を実践付きで行って

いる等とても興味深いお話を聞く事が出来ました。

中でも、行動障害は二次障害なので周りの環境を整えてあげることがとても大切で、著しい行動障害などのために地域で生活することが難しい方や、日常的な医療ケアが必要になったために障害者支援施設等から退所せざるを得ない知的障害者・発達障害のある方を、有期限の施設入所で支援しています。

その人らしい生活を再構築したい、支援のかたちを見直したい、そうした課題をお持ちの事業者や関係者の皆様はぜひご相談して頂くと、とても丁寧な相談にのっていただけるとは思います。

有期限入所した後、事業所に戻られて落ち着いて生活されている人たちもいるようです。ご興味のある方はぜひホームページにアクセスしてみてください。帰りの途中、道の駅でお土産を買ったり、お茶をしたり、休憩を挿み帰路につきました。とても良い研修になりました。有難うございました。

加藤 シゲヨ

## P&A

### 「思いやりの心」を育む研修

十一月二十日、大宮ソニックシティで行われた、さいたま市職員研修に講師として、P&Aメンバーが六名参加しました。

市の職員研修は、三回目ですが、今回初めて災害時の配慮・支援がテーマで、資料や体験を新しく作り直しました。

災害時に知的障害者がとってしまう行動や困りごとを紹介し、その対応についてお話ししました。

最後にメンバーの子どもの特徴も伝えて、一人一人苦手なことが違うことも分かってもらえたのではないかと思います。

災害時に障害者だけでなく、お年寄りや外国の方にも優しい環境になってほしいと願います。

山口 明子



さいたま市社会参加事業

「家族教室」

今年度、二回目の家族教室を十一月一日に開催致しました。

今回のテーマは「きょうだい」という事で、赤ちゃんを連れていらしたお母さんから、年配の方まで沢山の方にお越し頂きました。



講師 有馬 桃子氏

講師の「にじいろもびーる」

代表有馬氏は、ご自身も「きょうだい」の立場。知的障害を持つ妹さんや親御さんへの思いを、ご自身の体験と共に丁寧に語って下さいました。

子供の頃は、分からない事に対する漠然とした不安や、うまく言葉にできない葛藤を抱えていた事。社会や親からの期待に対する緊張感。成人後は、他の家庭との違いに気づくも、情報

を入手することや同じような立場の人とつながる機会が、とても少なかったとの事です。

これらの事が「きょうだい」支援に繋がっていったのでしょうか。

親は、家族単位で子どものことと考え「きょうだい」としての役割を与えてしまっているのかもしれない。私も障害がある子どもでもない子どもも、別々の人格を持った人として接していかなければと反省しました。

来場者の方からも「きょうだい」の気持ちが聞けて良かった、帰ったらすぐに気持ちを聞いてみたいとの声を沢山いただく事ができました。

【アンケート】

- ・年齢や時期によって変化していく気持ちとその都度、丁寧に受け止める大切さを知った
- ・有馬先生以外のきょうだいの話も聞いてみたい
- ・資料の文字が小さくて、読みづらかった
- ・きょうだい支援の場があることを教えた

研修 願法

グループホームに入居

【手続きは?】

今回は二十四歳の娘がグループホームに入居するまでの手続きを中心に振り返りたいと思います。

一昨年七月に浦和区支部で見学した施設を本人と相談の上、体験入居に進んでみる事になりました。

娘は就労していて、ショートステイも未利用だった為、「障害支援区分」を取得する必要がありました。まずは支援課に申し出をし、後日認定調査の面談を行いました。また、主治医には「意見書」の作成を、相談支援事業所には「サービス等利用計画」の作成を依頼しました。

九月末に区分が決定し、十二月に五日間の体験入居の実施。振り返り面談を経て、受け入れ可能と連絡があり一月に契約。数日準備に通い、昨年二月から本入居となりました。時間がかかった分、本人も親も心の準備をしていく期間があった良かったと思っています。

浦和区 高橋

ヘルパーステーション ほっと

元浦和育成会が開設した事業所です。永年障がい者の団体として活動を続けた経験を踏まえ、利用者の立場に立った心のこもった暖かいサポートを目指しております。



★**居宅介護**（ホームヘルプ）  
入浴・排せ・食事の介護など

★**同行援護**  
視覚障がい者の支援

★**ヘルパー募集中**

★**行動援護**  
行動上著しい困難を有する知的障がい者（児）  
精神障がい者の外出の介護・危険回避のための援護

★**移動支援**（ガイドヘルプ）  
余暇活動など社会参加のための外出が安全かつ円滑に出来るよう、移動についての支援



一般社団法人 飛躍  
ヘルパーステーション ほっと  
さいたま市大宮区天沼町2-813  
☎ 048-649-5703

**ご成人  
おめでとうございます**

浦和区 1名  
北区 1名  
西区 1名  
南区 1名



**浦和区からごんには**

**わーくはびねす農園見学**

十一月二十七日エスプールのラスが運営する企業向け貸出農園の見学に行ってきました。

障害者雇用を企業にかわり運営しているところです。障害者三名に指導員一名のグループで作業します。土の代わりに軽石を使用するので汚れにくく低い椅子に座り移動しながらの作業になります。

収穫した野菜は企業の社員食堂等に使用します。

働く場所の選択肢が増えるのはいいと思いました。 谷地



本人と家族の  
余暇活動  
〜日帰り旅行〜  
『サイボクハムと  
川越散策』

昨年の十月六日(日)に、どーなつでは初めての日帰りバス旅行を開催いたしました。総勢三十六名、車中でわいわい自己紹介をしながらサイボクハムへと向かいました。



ランチ

サイボクハムに着くとはじめに美味しい焼肉ランチを食べながら、おしゃべりを楽しみました。それからいろいろなお店を回って買い物をしました。みんなで集まり記念撮影をした後、川越に向かいました。



サイボクハム出発ハイポーズ

川越は多くの観光客でにぎわっていました。ソフトクリームにチーズケーキ、川越芋に川越茶・・・お店の種類も多く、食べ歩きも観光もできてみなさんにつこり笑顔でした。



幻想的

今後もいろいろな余暇活動を計画しています。ご期待ください。

Otsuka 大塚食品

原材料は、雪、雨、風、  
そして、シャスタという大地の力。  
人間だけでは決してつくりえないものがある。

**Power of Nature**  
ここ、シャスタの山から。



「市民のひろし」

十二月七日(土)プラザノースにて開催されました。ギャラリーの育成会のコーナーでは、ゲームコーナーなどもありお子さんたちに楽しく挑戦していただけたようです。



育成会コーナー

基調講演 稲川淳二氏

御自身の家族のお話は、テレビ等で見聞きしていた氏とは全く異なり、とても暖かく力強いお父様のお話しでした。

次男として生まれた直後から見つかった障害を乗り越え、二十六歳で亡くなるまでの親子家族の思いは、心にずっと響き自然に涙があふれてきました。

◆事務局からのお知らせ◆

昨年末に事務局が大宮ふれあい福祉センターに戻り、FAX番号が変更になりました。また、事務員退職の為、当面は週2・3日理事が対応いたします。

★編集後記★

あつという間に一年が過ぎました。正月に起きた能登地震の記憶はまだ鮮明に残っています。未だに復興の手が届かないところもあるようです。僅かな寄付をするくらいしかできませんが、全国の人が応援しています。少しでも前を向いて歩いていてください。

発行 一般社団法人

さいたま市手をつなぐ育成会
代表理事 加藤 シゲヨ
〒330-0801
さいたま市大宮区土手町 一丁目三十一

大宮ふれあい福祉センター内
TEL 〇四八六五四七七六三
FAX 〇四八七八八八五一一
E-mail sc-you@bz03.plala.or.jp

ホームページ
http://www.saitamashi-ikuseikai.org/
フェイスブック
@saitamashitewotsunagukuseikai

編集 広報委員会
定価 五十円(会費に含む)

未来あんしんサポート

NEW 2023年7月、新しいプランが新登場 “月払”または“一括払”の2タイプからお選びいただけるしくみへ

【知的障がい】や【自閉症】【発達障がい】【ダウン症】等の障がいのあるお子さまのために “親なきあと” をサポートするご提案です

未来あんしんサポート

【生命保険募集代理店・信託契約代理店】

株式会社ジェアイシー
本社 〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-2-11
新宿三井ビル2号館2F
ホームページ www.jicgroup.co.jp

【所属信託会社】
みずほ信託銀行株式会社
【生命保険引受保険会社】
第一フロンティア生命保険株式会社
または
マニライフ生命保険株式会社
MLJ(営教)23050318

障がいのあるこの子が お金の管理をできるか心配...
この子が経済的に 困らないようにしてあげたい。
自分がまだ元気なうちは、毎年うけとる お金を使ってこの子と一緒に楽しみたい

「生命保険」と「信託」が “親御さまの想い” を 確実に未来へのこします

「未来あんしんサポート」は、(株)ジェアイシーが ご提案する生命保険と生命保険信託をあわせた サービスの総称です。

お問合せや資料のご請求はこちらへ
未来あんしんサポートに関するお問い合わせ
ジェアイシー生命保険信託相談ダイヤル
0120-580-503 通話料 無料
受付時間:月~金(祝日・年末年始を除く)9:00~17:00

●未来あんしんサポートについて、詳細は「未来あんしんサポートリーフレット」をご覧ください。●(株)ジェアイシーの担当者(生命保険募集人)は、お客さまと各生命保険会社の保険契約締結の媒介を行うことで、保険契約締結の代理権はありません。したがって、保険契約はお客さまからの保険契約のお申込みに対して各生命保険会社が承諾したときに有効に成立します。●(株)ジェアイシーは「個人情報保護に関する基本方針」と題するプライバシーポリシーを策定し、これに基づいて個人情報の取扱いを行っています。その内容は、(株)ジェアイシーのホームページにてご確認ください。●当資料は、2023年7月1日時点のお取扱い内容に基づき作成しています。

一般社団法人 全国手をつなぐ育成会連合会の会員の皆様へ

手をつなぐがん保険 (団体総合生活保険)



Three feature boxes: 特長1 代理手続き代理告知が可能 (障がいのある方向けプラン); 特長2 告知対象疾患の緩和 (障がいのある方向けプラン); 特長3 成年後見費用を補償 (障がいのある方のご家族向けプラン)

この広告は、「手をつなぐがん保険」の概要をご紹介したものです。ご加入にあたっては、必ず「パンフレット兼重要事項説明書」をよくお読みください。「手をつなぐがん保険」は団体総合生活保険の愛称です。ご不明な点等がある場合は、代理店までお問い合わせください。

手をつなぐがん保険に興味を持たれた方は 下記お問い合わせ先(取扱代理店)に 資料請求をお待ちしております。

【お問い合わせ先取扱代理店】
ぜんち共済株式会社
〒102-0073 東京都千代田区九段北3-2-5
九段北325ビル4階
0120-322-150
TEL:03-6910-0850 FAX:03-6910-0851
URL:http://www.z-kyosai.com/
MAIL:gan@z-kyosai.com
(営業時間 平日9:00~17:00(土日・祝日・年末年始を除く))
東京海上日動火災保険株式会社
公務第一東京公務課
〒102-8014 東京都千代田区三番町6-4
TEL:03-3515-4126(営業時間:平日9:00~17:00)